

第3号議案

調整力等に関する現地調査（欧州）の実施について

（案）

調整力の今後のあり方等に係る検討のため、以下のとおり、調整力等に関する委員会の関係者および本機関職員を欧州に派遣することとしたい。

1. 調査内容 長期から短期までの調整力等必要量の考え方
自然変動電源の拡大に伴う調整力等に関する議論の状況 他
2. 期間 2015年11月1日（日）～11月8日（日）
3. 場所 イギリス（National Grid）
ベルギー（ENTSO-E）
ドイツ（50Hertz, Amprion, DNV-GL）
※訪問先は一部調整中につき追加・変更の可能性あり。行程は別紙1のとおり。
4. 調査実施者
同委員会関係者として下表の2名を派遣する。これに加え、本機関職員1名を派遣する。

所属・役職	氏名
横浜国立大学大学院 工学研究院 教授	大山 力 (委員長)
中部電力株式会社 流通本部 系統運用部 給電計画グループ 課長	園田 光寛 (平岩委員代理)

5. 予算
 - ・委員会関係者に係る諸経費及び日当相当額は、本機関職員旅費規程に準じ本機関が負担する。
 - ・本機関職員については、職員旅費規程に基づき支給する。

予算（海外旅費および雑費）：659万円（内訳は別紙2のとおり。）

6. その他
 - ・派遣に関する依頼文発行等の事務手続きは企画部長にて行う。
 - ・委員会関係者に係る費用の精算（予算内に限る。）は総務部長にて行う。

以上